

仕入ご担当者様(ジャンル: 民俗学)



晶文社

12月新刊

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-11  
TEL 03-3518-4940 <http://www.shobunsha.co.jp>

# 蚕 絹糸を吐く虫と日本人

畑中章宏 四六判並製 240 頁 予価 1800 円 ISBN978-4-7949-6899-9 C0095

## 現金を運んでくる虫、お蚕さん、 日本中の農家に蚕がいた時代とは？

2014 年（平成 26）6 月、「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録されたことにより、日本の養蚕・製糸業に注目が集まっている。明治時代、日本は世界一の生糸輸出国だった。それらで蓄えた外貨によって、日本は近代化を推し進めた。蚕の生育は農家にとって死活問題。そこから、さまざまな民間信仰が生まれた。

養蚕は 1935 年前後をピークに衰退してしまっただが、養蚕が生み出した、素朴で豊かな文化と芸術を、各地を取材しながら掘り起こす。

## かつての日本人にとって最も身近だった 生きもの、「蚕」をとおして 日本の庶民の哀歓を浮き彫りにする。



元日に初絵売りから買い、神棚の下に貼っておくとカイコが当たるといわれていた初絵「絹笠明神」

### 【目次】

- 一 蚕と日本社会
- 二 豊繭への願い
- 三 猫にもすがる
- 四 東京の絹の道

### 【著者について】

畑中章宏（はたなか・あきひろ）

1962 年大阪生まれ。作家・編集者。多摩美術大学芸術人類学研究所特別研究員、日本大学芸術学部写真学科講師。著書に『災害と妖怪』『津波と観音』（亜紀書房）、『「日本残酷物語」を読む』（平凡新書）、『ごん狐はなぜ撃ち殺されたのか』（晶文社）、など。

晶文社営業部 **FAX03-3518-4944** 配本申込み〆切 11 月 27 日

新刊委託申込書	取次・貴店印	<h1>蚕</h1> 絹糸を吐く虫と日本人	申込部数	
			冊	
		畑中章宏 著	展示方法	
	ご担当 様	【民俗学】 46判並製・240ページ 予価1800円 ISBN978-4-7949-6899-9 C0095 12月10日配本予定 晶文社営業部 TEL03-3518-4940	平 台	棚 差 し